

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

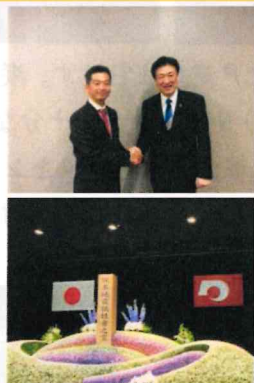
熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



つつみ泰之 春の集いを4月23日(木)に、ホテルメルパルク熊本にて開催させていただきました。250名超の参加者にご参加いただき、木原稔官房長官令夫人 木原由紀子様や熊本県宅建政治連盟緒方会長にもご臨席いただき、和気藹々とした雰囲気の中であっという間の2時間でした。これまでの活動報告と新年度の県議会での所属委員会への意気込みとともに、政治の道に足を踏み入れるきっかけの一つとなった悲しい孤独死の事案についてお話しさせていただきました。会場を見渡ししながら政治家としてのみならず自分や家族はこれまで皆さんに支えられてきたんだという実感を噛みしめていました。

【2026年4月16日 熊本地震10年犠牲者合同慰霊式典】



熊本地震本震から10年…熊本地震犠牲者合同追悼式典に参列させていただきました。会社の管理物件の多くが熊本市東区と益城町にあり、震災の日は夜明けと同時に安否確認に車を走らせたことを鮮明に思い出します。県道28号熊本高森線は家屋の倒壊により、どこが道かわからないところもありました。地盤沈下した道路からはマンホールがキノコのように生えていました。被害者の方々のご冥福をお祈りし、被災されたすべての方々のご苦勞をしのび、更に防災に備えることを誓います。式典前に政府代表として半年ぶりに帰郷された木原稔官房長官にお会いできて嬉しかったです。私も、あの日を忘れず日々頑張ります。

【熊本県議会海外視察ドイツ/フランクフルト～ミュンヘン】

今月の数字



熊本県の家計消費支出額（2人以上世帯）

月額 **351,000円** (R6年「家計調査」)

県議会の視察でドイツ南部の都市へ。目的はドイツ各州が力を入れている公共交通ネットワーク網や幼少時の能力開発から高齢者の健康維持まで一貫して組織されている地域スポーツクラブの運営状況、世界遺産登録の実情を知ることです。州政府が力を持つドイツの成り立ちと、0エネと石油価格高騰に苦しむドイツの今の姿を感じながら、あらためて日本がどれだけ平和で安心して暮らせる国かということを再認識する1週間でした。

2024年総務省「家計調査」によると熊本県の2人以上世帯の消費支出額は平均で35万1千円。うち食糧費が9万1千円、交通通信費が5万2千円、住居費が2万6千円、光熱・水道費が2万1千円、保険教育費が2万1千円、医療費が1万8千円、教養娯楽費が3万1千円となっています。これを見ると食糧費の高騰やガソリン代の上昇がいかに家計に与える影響が大きいということがわかります。インフレ経済の時代になりました。物価やエネルギー上昇に負けない強い社会をつくっていかねばなりません。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター（相対対策専門士）・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士